

# フォントビューワー 開発仕様書

2019/09/11

初版

BJIT アカデミー

## 目的

BDF フォントファイルのビットマップフォントのビットマップを CUI 上に表示し、フォント形状を確認する。

対象とするフォントは、8x8 ビットのみとする。

## 使用する環境

Ubuntu (バージョン 18.04 以上)

Python 言語 ver. 3.0 以上 または、C++ (g++ ver 8.3.0 以上)

## 使用するデータ

Ib8x8u.bdf (テストデータ)

## 参考の仕様書

5005. BDF\_Spec. pdf

## 実装する機能

- ① “エンコード番号” をターミナルから入力する。

入力前には、 “エンコード番号を入力してください” のメッセージを出す。

- ② “エンコード番号” を入力し、リターンキーを押すと検索結果を表示する。

※エンコード番号は、10進数と16進数の両方で入力できるようにする。

※16進数の場合は、入力値の先頭に”0x”を付加する。

- ③ 検索した結果の出力データは下記フォーマットとする。

エンコード:” エンコード番号 “

ビットマップ:

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

※ビットマップの表示には、0ビットを”- “、1ビット”\*”として表示する。

- ④ 検索した結果に該当のデータがない場合は、下記メッセージを出す。

“該当のデータがありません”

※フォントビューワーは、コマンドプロンプトから入力するファイルを第一引数として指定して実行できるようにすること。

入力例 1)

エンコード番号を入力してください 65

出力例 1)

エンコード: 65 (0x41)

ビットマップ:

---\*\*-----

-\*\*\*\*\*----

\*\*--\*\*--

\*\*--\*\*--

\*\*\*\*\*--

\*\*--\*\*--

\*\*--\*\*--